

2019年3月期 第1四半期  
**決算補足説明資料**

2018年 8月8日



証券コード : 8715

# 1. 連結経常収益・経常利益・修正利益の推移

■ **経常収益** : 8,711 百万円 (前年同期は 7,752 百万円 **12.4% 増**)

(うち、保険引受収益: 8,375 百万円 前年同期は 7,541 百万円 11.1% 増)

■ **経常利益** : 589 百万円 (前年同期は 277 百万円 **112.4% 増**)

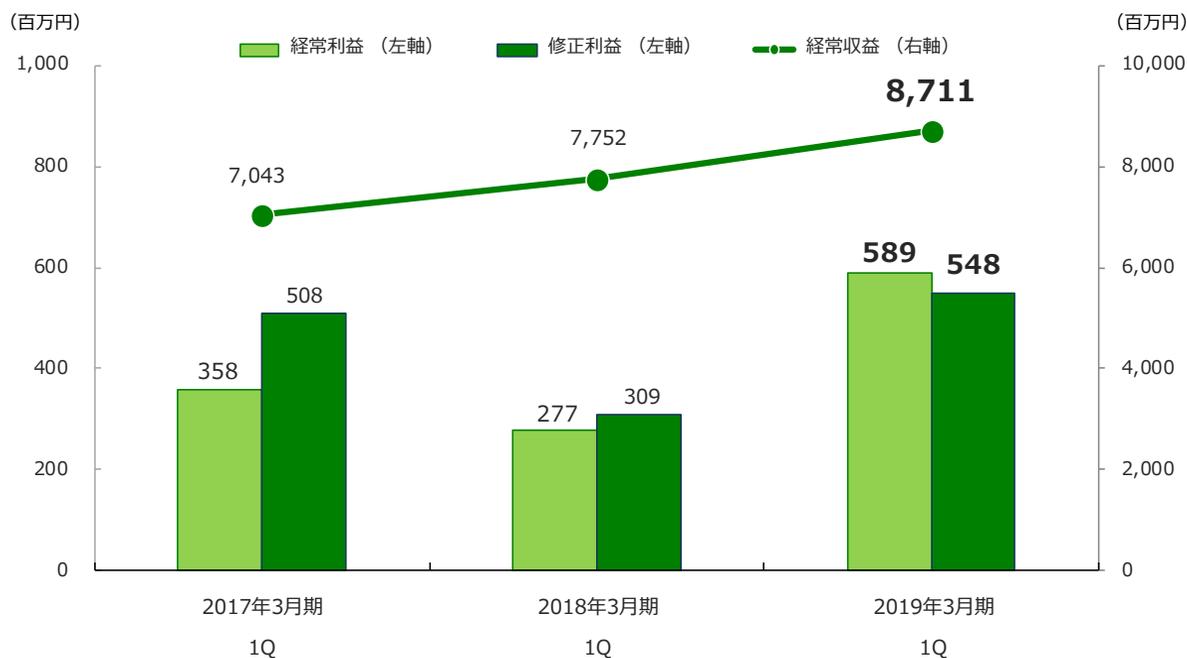
・新規取組み強化と安定した継続率により、**保有契約数は順調に増加** (前年同期比9.7%増)。

保険引受収益は、**前期を上回る二桁台の増加** (2017年3月期10.1%増⇒2018年3月期11.1%増)。

・アニコム損保単体の損害率・事業費率の改善により、**ペット保険事業の実質的な損益を表す修正利益** (注) は大幅に増加。

・病院運営を含むその他経常収益も順調に拡大しており、その結果**グループ連結の経常利益は計画比上振れで着地**。

(注) **修正利益** : 経常利益から異常危険準備金、資産運用収支、その他経常収支等の影響を除外した利益であり、“ペット保険事業の実質的な損益”を表す当社グループ独自の指標。



## 2. 2019年3月期 連結決算概況

(百万円)

## 主な勘定科目の内容と増減理由

	18年3月期 1Q	19年3月期 1Q	対前期 増減率
<b>経常収益</b>	<b>7,752</b>	<b>8,711</b>	<b>12.4 %</b>
保険引受収益	7,541	<b>8,375</b>	11.1 %
資産運用収益	86	<b>82</b>	△ 4.5 %
その他経常収益	124	<b>254</b>	104.5 %
<b>経常費用</b>	<b>7,474</b>	<b>8,122</b>	<b>8.7 %</b>
保険引受費用	5,366	<b>5,913</b>	10.2 %
(正味支払保険金)	(3,973)	<b>(4,397)</b>	10.7 %
(損害調査費)	(248)	<b>(258)</b>	3.8 %
(諸手数料及び集金費)	(623)	<b>(741)</b>	19.0 %
(支払備金繰入額)	(115)	<b>(96)</b>	△ 16.7 %
(責任準備金繰入額)	(405)	<b>(420)</b>	3.7 %
(うち未経過保険料)	(347)	<b>(335)</b>	△ 3.5 %
(うち異常危険準備金)	(57)	<b>(84)</b>	46.6 %
資産運用費用	-	-	- %
営業費及び一般管理費	2,062	<b>2,153</b>	4.4 %
その他経常費用	45	<b>55</b>	21.5 %
<b>経常利益</b>	<b>277</b>	<b>589</b>	<b>112.4 %</b>
<b>当期純利益</b>	<b>193</b>	<b>428</b>	<b>122.0 %</b>

## ① 保険引受収益 (詳細は「4.経常収益のパラメータ」(P6)参照)

- ・保有契約数が対前年同期比で9.7%増加。
- ・新規契約数累計が対前年同期比で8.8%増加。
- ・継続契約数の増加と加齢に伴う保険料単価の上昇(料率改定含む)も一部寄与。

## ② 資産運用収益

- ・主に国内株式・国内REITにより安定的な運用収益を確保。

## ③ 正味支払保険金

- ・保有契約の増加に伴い保険金支払も増加。

## ④ 諸手数料及び集金費

- ・主に代理店に対する手数料。保険引受収益の増加に比例して増加。

## ⑤ 支払備金繰入額

- ・将来の保険金支払に備えるための繰入額。
- ・支払備金(B/S)期末残高-期首残高で算出。
- ・③正味支払保険金と合算することで、発生保険金となる。

## ⑥ 未経過保険料繰入額

- ・収入保険料のうち翌期以降に対応する保険料の繰り延べ。
- ・繰入額は期末残高-期首残高で算出される。なお、その期における保険引受収益のおおよそ35%-40%前後が期末残高となる。
- ・保険引受収益から未経過保険料繰入額を差し引くと既経過保険料(=発生ベースの保険料)となる。

## ⑦ 異常危険準備金

- ・制度化された積立であり、収入保険料の3.2%を毎期計上。
- ・一方、当期首残高を限度額として「正味損害率が50%となる水準」まで取崩すこととなり、繰入額はそのNet金額が計上される。
- ・通期では、おおよそ「増収分×3.2%」が繰入額として計上される。

## ⑧ コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)

- ・アニコム損保単体では対前年同期比で低下。今期計画に沿って改善傾向。

## 【アニコム損保単体指標】

既経過保険料	7,193	<b>8,039</b>	11.8 %
発生保険金(損害調査費含む)	4,337	<b>4,751</b>	9.5 %
E/I 損害率 ①	60.3 %	<b>59.1 %</b>	△ 1.2 pt
既経過保険料 <sup>ベース</sup> 事業費率 ②	35.4 %	<b>34.1 %</b>	△ 1.3 pt
コンバインド・レシオ(既経過保険料 <sup>ベース</sup> ) ①+②	95.7 %	<b>93.2 %</b>	△ 2.5 pt

### 3. 連結貸借対照表 サマリー

(百万円)

主な勘定科目の内容と増減理由

	18年3月期	19年3月期 1Q	増減率
<b>資産合計</b>	<b>31,164</b>	<b>32,035</b>	<b>2.8 %</b>
現金及び預貯金	19,078	<b>19,563</b>	2.5 %
有価証券	4,625	<b>5,204</b>	12.5 %
有形固定資産	1,359	<b>1,321</b>	△ 2.8 %
無形固定資産	1,462	<b>1,464</b>	0.2 %
その他資産	4,104	<b>3,984</b>	△ 2.9 %
繰延税金資産	623	<b>586</b>	△ 5.9 %
貸倒引当金	△ 88	<b>△ 89</b>	- %
<b>負債合計</b>	<b>17,576</b>	<b>17,897</b>	<b>1.8 %</b>
保険契約準備金	14,508	<b>15,025</b>	3.6 %
うち支払備金	1,952	<b>2,048</b>	4.9 %
うち責任準備金	12,556	<b>12,976</b>	3.3 %
その他負債	2,845	<b>2,723</b>	△ 4.3 %
賞与引当金	173	<b>98</b>	△ 43.3 %
価格変動準備金	48	<b>50</b>	3.7 %
<b>純資産合計</b>	<b>13,587</b>	<b>14,138</b>	<b>4.0 %</b>
株主資本	13,546	<b>14,072</b>	3.9 %
うち資本金	4,443	<b>4,460</b>	0.4 %
うち資本剰余金	4,333	<b>4,350</b>	0.4 %
うち利益剰余金	4,770	<b>5,262</b>	10.3 %
うち自己株式	△ 0	<b>△ 0</b>	- %
<small>その他有価証券評価差額金</small>	△ 128	<b>△ 99</b>	- %
新株予約権	169	<b>165</b>	△ 2.9 %
<b>負債・純資産合計</b>	<b>31,164</b>	<b>32,035</b>	<b>2.8 %</b>

## ① 有価証券

- ・ 主に国内株式・国内REIT等にて運用。

## ② 支払備金

- ・ 将来の保険金支払に備えて計上される未払金。すでに請求を受けている①普通支払備金と、保険事故は発生しているものの未だ請求を受けていない②IBNR備金を計上。
- ・ 基本的に保有契約の増加に伴い保険金請求も増加するため増加傾向。

## ③ 責任準備金

- ・ 未経過保険料である①普通責任準備金（11,889百万円）と、異常災害に備えて引き当てる②異常危険準備金（1,087百万円）を計上。
- ・ 普通責任準備金は保有契約の増加に伴い増加する傾向であり、当該期における正味収入保険料のおおよそ35%～40%前後が残高として計上される傾向。

## 4. 連結キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)

	18年3月期 1Q	19年3月期 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	716	<b>978</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 126	△ <b>436</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 90	△ <b>57</b>
現金及び現金同等物の増減額	499	<b>484</b>
現金及び現金同等物の期首残高	13,492	<b>17,128</b>
現金及び現金同等物の期末残高	13,992	<b>17,613</b>

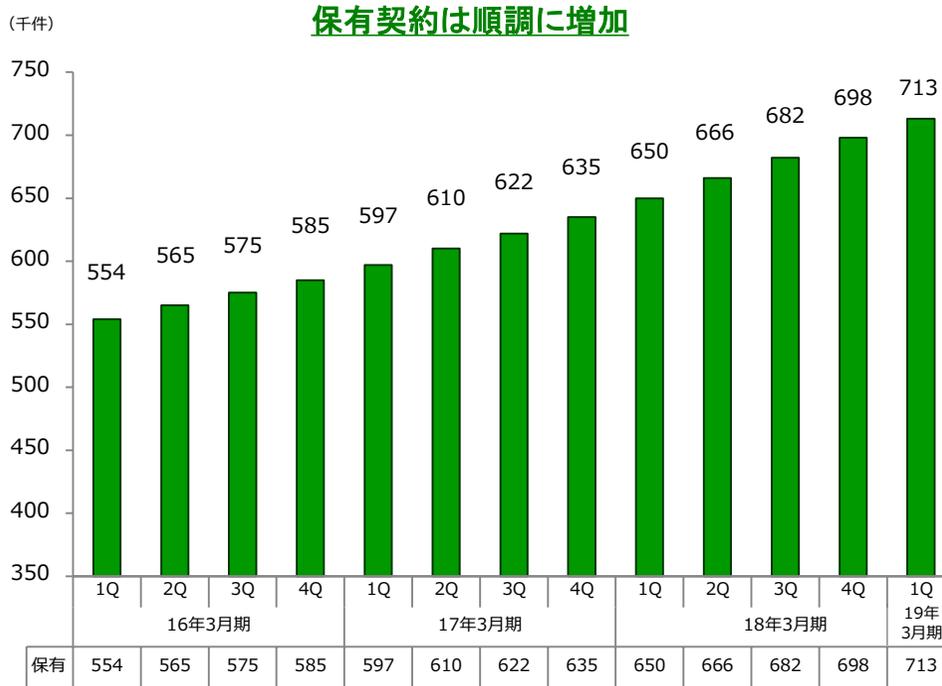
- ・保有契約の順調な増加により、安定した営業キャッシュ・フローを計上。
- ・運用資産への投資を進める一方で売却による回収も実行し、投資キャッシュ・フローをコントロール。
- ・財務キャッシュ・フローは剰余金の配当による支出。

## 5. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ

(ペット保険保有契約数／新規獲得数の推移)



## ■ 保有契約数の四半期推移



## ■ 新規契約獲得数の四半期推移



※ NB：ペットショップチャネル

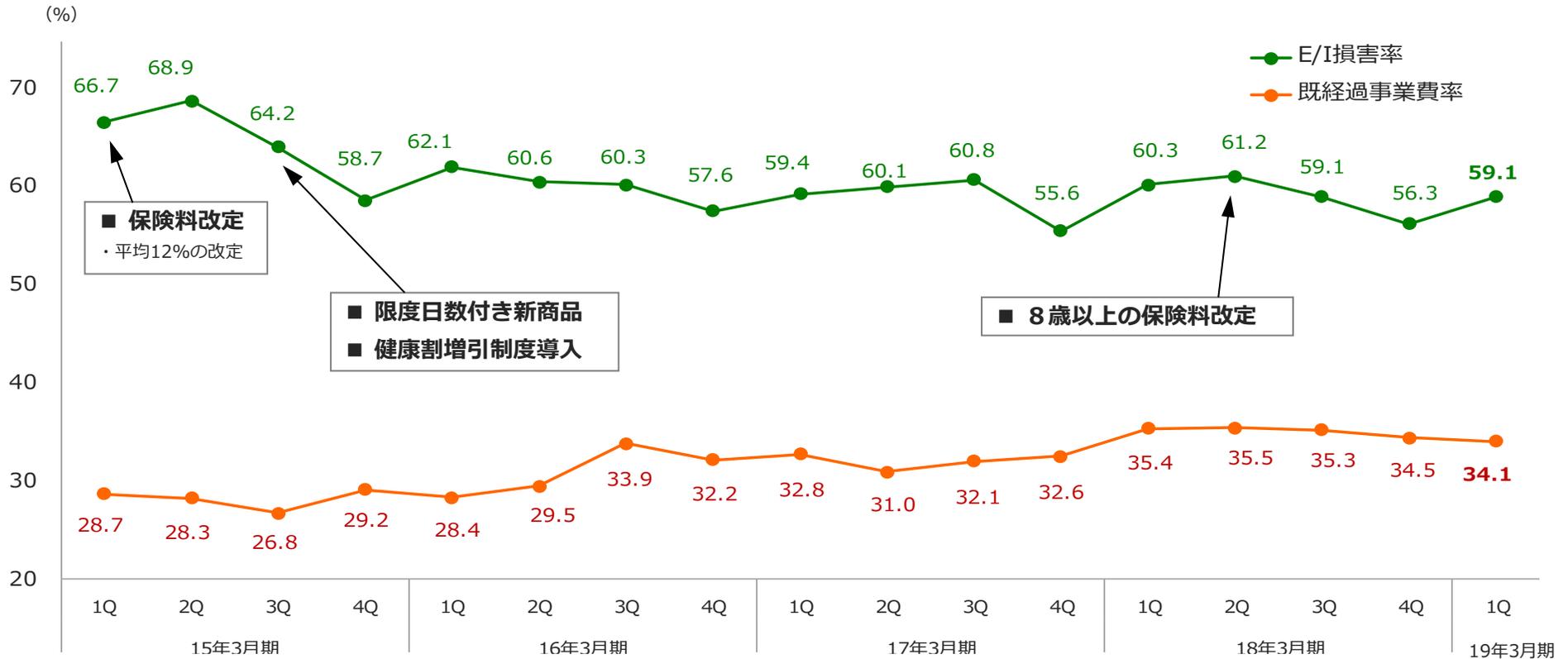
- ・ **新規契約獲得は引き続き順調に推移**。NBチャネル、一般チャネルともに対前年同期比で増加。WEB広告等は効率化を図りながら、継続。
- ・ **既契約の継続率は88%前後で堅調に推移**。
- ・ 以上の結果、**保有契約数は順調に増加**。
- ・ 50%プランと70%プランの比率は、保有契約全体ではおおよそ60：40で50%プラン割合が多い。一方、新規契約では70%プランが5割超。

## 6. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ

(損害率 (E/I)、既経過保険料ベース事業費率)



注1) 下表は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。  
 注2) 事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」(損保事業費÷既経過保険料)を表しております。



- ・ **E/I損害率は**、動物病院の繁忙期に応じて1Q・2Qに上昇した後、3Qから4Qにかけて通院頻度が減少することで改善していくといった季節性を有する。当期1Qは、新規契約増により商品ポートフォリオの改善が順調に進んだことに加え、高齢クラスターの料率改定効果が徐々に効いてきたことから、**対前年同期比で改善**。
- ・ **事業費率は**、引き続き規模拡大に向けた投資を行っているなか、費用の一部圧縮等により、**対前年同期比で改善**。
- ・ 安定した利益計上と新規投資のバランスを図るため、両者を合算した**コンバインド・レシオを中期的には90%程度でコントロールする方針**。

## 7. 中期経営計画 2018年度重点施策の進捗状況

### 1. 売上の拡大

重点施策	直近の進捗状況
(1) 一般契約の大規模な獲得（効果的なWEB戦略）	・LINEから保険加入できる業界初のサービスを開始
(2) ペットショップチャネルの更なる拡大	・三井住友銀行でペット保険販売を開始 ・株式会社西武ペットケアとの業務提携に合意
(3) プリーダー・譲渡会等チャネルの新規開拓	・予防型保険を目指した健診サービス付帯の新商品を発表
(4) 無事故・NB2年目の継続率の向上	・継続率は安定的に推移
(5) 新商品の開発	・新規契約獲得、保有契約も着実に拡大基調

### 2. 費用の改善

重点施策	直近の進捗状況
(1) 保険金の適正化（誤請求・不正請求の防止を徹底）	・各種予防施策を継続実施中（外耳炎、骨折対策等）
(2) ペットの生活習慣に関する予防の取組みを拡充	・損害率も改善基調へ

### 3. 新規事業への投資・予防戦略の全体像



# APPENDIX

---

1. 主要経営パラメータ
2. トピックス

# 1. 主要経営パラメータ

	①	②	③	③-①		③-②		19年3月期末 (5月9日予想)
	18年3月期 1Q	18年3月期末	19年3月期 1Q	前年同期比		対前期末		
				件数	率	件数	率	
① 保有契約数	650,550 件	698,566 件	713,896 件	63,346 件	9.7 %	15,330 件	2.2 %	776,080 件
② 新規契約数	34,667 件	143,365 件	37,726 件	3,059 件	8.8 %	-	-	166,000 件
③ 継続率	88.1 %	88.2 %	88.2 %	-	-	-	-	88.2 %
④ 保険金支払件数	723 千件	3,006 千件	773 千件	50 千件	7.0 %	-	-	3,218 千件
⑤ 対応動物病院数	6,116 病院	6,265 病院	6,304 病院	188 病院	3.1 %	39 病院	0.6 %	6,400 病院

	18年3月期 1Q	19年3月期 1Q	対前年同期増減	19年3月期 (5月9日予想)
⑥ E/I 損害率	60.3 %	59.1 %	1.2 Pt 改善	59.0 %
⑦ 既経過保険料ベース事業費率	35.4 %	34.1 %	1.3 Pt 改善	34.5 %
⑧ コンバインド・レシオ (既経過保険料ベース)	95.7 %	93.2 %	2.5 Pt 改善	93.5 %

	18年3月期末	19年3月期 1Q	対前期末増減	19年3月期 (5月9日予想)
⑨ 単体ソルベンシー・マージン比率	305.6 %	309.4 %	3.8 pt	315.0 %前後

## 2. トピックス

### ① 「予防型保険」に向け新サービスを発表



腸内フローラ測定と保険金（疾病）データを組み合わせた独自指標により、ペットの病気のリスクを判定し、リスクが高いと出た場合には、指定の病院で無料で健康診断を受信できる新サービス「どうぶつ健活」を、2018年12月から保険契約者に無料付帯します。また、より実態に沿った保険料への見直し等を含めた商品改定も同時に実施します。

### ④ ペット関連施設の予約事業との協業・投資



美容院、飲食店などの施設を簡単に予約できるサービスを展開する「EPARK」グループのひとつで、動物病院・トリミングサロンなどの情報発信ポータルサイトを運営する「株式会社EPARKペットライフ」との協業に合意し、一部出資を行いました。動物病院向けカルテ管理システム（アニコムレセプター）との連携等をはじめとした当社のネットワークを活かし、双方のビジネス向上・多面的な発展を目指します。

### ② 業界初、LINEで保険加入できるサービス



LINEを使って保険加入できるサービスを開始しました。若年層や女性といった顧客層の開拓を目指します。2017年5月に発表したLINEでできる保険金請求に続く業界初のインステックで、顧客利便性の向上に努めます。

### ⑤ 西武グループ子会社と業務提携



トリミングサロンを展開する株式会社西武ペットケアとの業務提携を開始しました。ペット保険の販売、相互送客を踏まえた各種サービスの展開、また、殺処分ゼロに向けた「終生飼養施設」の設立などを目指していきます。

### ③ メガバンクで初、ペット保険の発売開始



2018年7月より、三井住友銀行でペット保険の販売を開始しました。これまでも多くの金融機関でのお取扱いがありましたが、メガバンクでは初となります。また、顧客向けサービス「anicom24PLUS」でも、同社との提携を始めました。

### ⑥ 災害支援を継続的に実施



西日本豪雨災害により甚大な被害を受けた岡山県真備町に獣医師3名を派遣し、被災したペットや飼い主のケアを行いました。また、6月の大阪府北部地震の際も、災害後のペット迷子捜索サポートなどの活動を実施しています。



お問合せ先

**アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部（IR事務局）**

東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

URL : <http://www.anicom.co.jp/>

**【本資料に関する注意事項】**

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しております。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。